

令和 2 年 2 月

定例教育委員会

1

2月定例会（1）

開催日時 令和2年2月13日（木） 14時00分

開催場所 県庁行政棟「教育委員会室」

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 議 題

○第30号議案

文化財の県指定について

(学芸文化課)

4 報 告

- (1) 「令和2年度長崎県教職員研修計画」の策定について (教育センター)
- (2) 長崎県イングリッシュ・パフォーマンスコンテストの実施結果について (義務教育課)
- (3) 21世紀型学力向上推進緊急プロジェクトの実施状況について (義務教育課)
- (4) 令和2年度長崎県立中学校入学者選抜の実施状況等について (高校教育課)
- (5) 令和2年度県立学校校長・副校長・教頭選考試験の結果について (高校教育課)
- (6) 令和2年度県立学校職員（実習助手、寄宿舎指導員）採用選考試験の結果について (高校教育課)
- (7) 令和2年度県立学校教員（理療）採用特別選考試験の結果について (高校教育課)
- (8) 障害のある子どもの教育の在り方に関する検討委員会第2回会議について (特別支援教育課)
- (9) 学芸員採用選考試験の結果について (学芸文化課)
- (10) 県庁舎跡地範囲確認調査の結果について (学芸文化課)
- (11) 第75回国民体育大会冬季大会について (体育保健課)

文化財の県指定について

(提案理由)

長崎県文化財保護条例第4条第1項の規定に基づき、下記文化財を新たに県指定文化財に指定しようとするものである。

(内 容)

◇県指定する文化財

有形文化財(美術工芸品)「^{いさはやけもんじょ}諫早家文書」(諫早市)

【指定理由】

本件は、江戸時代、諫早を領有した諫早家に伝来した日記類 1,033点、記録類 390点、絵図類 85点の計 1,508点からなる古文書群である。

諫早家文書のうち7割近くを占める日記類は、延宝4年(1676)から慶応4年(1868)までの約200年の記録が、ほぼ途切れることなく残されており、県内でも、これだけ長い期間にわたって藩政日記が伝存している事例は少ない。

日記は佐賀を中心に諫早・長崎など居所を移す諫早領主の動きにあわせて作成されており、加えて領内のさまざまな出来事も記載されている。

記録類には、諫早家歴代領主の事跡をまとめた年譜や系図のほか、文化元年(1804)にロシア使節レザノフが交易を求めて長崎へ来航した一件をまとめた「^{ろしあたらいろく}魯西亜渡来録」などがある。

絵図類には、諫早領内図のほか、長崎警備や島原の乱に関する絵図などがある。

このように諫早家文書は、諫早領内の政治・社会・経済・文化などを伝えるとともに、佐賀本藩や長崎とも深いつながりをもつ貴重な古文書群として高く評価できる。

(参 考) 長崎県文化財保護条例 (抄)

第4条 教育委員会は、県の区域内に存する有形文化財(法第27条第1項の規定により重要文化財に指定されたものを除く。以下同じ。)のうち県にとって重要なものを県指定有形文化財に指定することができる。

2 前項の規定による指定をしようとするときは、教育委員会は、あらかじめ、指定しようとする有形文化財の所有者及び権原に基づく占有者の同意を得なければならない。ただし所有者又は権原に基づく占有者が判明しない場合は、この限りでない。

3 第1項の規定による指定をしようとするときは、教育委員会は、あらかじめ、長崎県文化財保護審議会(以下「文化財保護審議会」という。)に諮問しなければならない。



日記類のうち「日記」



記録類のうち「ろしあどらいろく魯西亜渡来録」



絵図類のうち「りょうないなんぶず領内南部図」

報 告 事 項 (1)

教育センター

件 名	令和2年度長崎県教職員研修計画の策定について
概 要	<p>1. 趣旨及び経過</p> <p>「長崎県 教員等の資質向上指標」を踏まえ、「令和2年度長崎県教員研修計画」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 11月26日 「ワーキンググループ会議」の開催・ 1月 9日 「令和2年度 教職員研修計画策定委員会」の開催 <p>2. 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 指標を踏まえた資質能力の計画的育成(2) 多様な教育課題への対応(3) 学校・教職員のニーズへの対応(4) 研修成果の評価と活用 <p>3. 今後の対応</p> <p>各市町教育委員会、各県立学校へ通知</p>

報 告 事 項 (2)

義務教育課

件 名	長崎県イングリッシュ・パフォーマンスコンテストの実施結果について												
概 要	<p>1. 目 的 子供たちの日々の英語学習の目標となる機会を提供することで、英語に対する興味・関心を高めるとともに、英語でコミュニケーションを図るための基礎力及び英語による表現力の育成・強化に資する。</p> <p>2. 日 程 ・期 日 令和2年1月25日(土) 12:30～15:45 ・場 所 長崎県庁(1階 大会議室A、B、C)</p> <p>3. 内容等 参加者 40名(中学生24名、小学生16名) 参観者 約200名 【中学生】 各市町及び各学校の予選会や審査によって選出された代表生徒が、教科書または「RISE UP ENGLISH」の英文を、正確且つ表現力豊かに暗唱発表する。次の3点で審査し、表彰する。 ①発音の正確さ ②適切な声量・態度 ③暗唱の完成度 ※「RISE UP ENGLISH」…インターネットを用いて、英単語や表現が楽しく学習ができるように県教委が開発したWeb教材。使用頻度の高い単語や基本的な表現、長崎を紹介する英文等を身に付けさせ、表現力の向上を図る。常時利用でき、中学生だけでなく小学生や一般も利用できる。</p> 【小学生】 文部科学省が各学校に配付している外国語教材「We Can!」を参考にし、写真や実物等を見せながら、児童自身が伝えたいことを英語で発表する。審査は行わない。 <p>4. 結 果</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">最優秀賞</td> <td style="width: 35%;">南島原市立加津佐中学校</td> <td style="width: 15%;">中島 和香奈</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>県立長崎東中学校</td> <td>諸藤 菜々</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>長崎市立長崎中学校</td> <td>フレイク セア ウー</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>県立諫早高校附属中学校</td> <td>野崎 瑠衣</td> </tr> </table>	最優秀賞	南島原市立加津佐中学校	中島 和香奈	優秀賞	県立長崎東中学校	諸藤 菜々	優秀賞	長崎市立長崎中学校	フレイク セア ウー	優秀賞	県立諫早高校附属中学校	野崎 瑠衣
最優秀賞	南島原市立加津佐中学校	中島 和香奈											
優秀賞	県立長崎東中学校	諸藤 菜々											
優秀賞	長崎市立長崎中学校	フレイク セア ウー											
優秀賞	県立諫早高校附属中学校	野崎 瑠衣											

件 名	21世紀型学力向上推進緊急プロジェクト事業の実施状況について														
概 要	<p>1. 読解力育成プランについて</p> <p>(1) 目的 リーディングスキルテスト (R S T) を活用して、児童生徒の読解力に係る調査研究を行い、その研究成果を「読解力育成プラン」として県内に広く公表することにより、各学校における学習指導の充実や改善を図り、本県児童生徒の学力向上に資する。</p> <p>(2) リーディングスキルテストとは ○「基本的な読む力」を測るテスト。 ○教科書等の基本的な文章や図、グラフからの情報などを読み取ることができるかを能力値6分類で評価。 ※能力値6分類とは</p> <table border="1" data-bbox="308 887 1434 1205"> <thead> <tr> <th>能力値</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係り受け解析</td> <td>・文の基本構造(主語・述語・目的語など)を把握する力</td> </tr> <tr> <td>照応解決</td> <td>・指示代名詞が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力</td> </tr> <tr> <td>同義文判定</td> <td>・2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力</td> </tr> <tr> <td>推論</td> <td>・既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力</td> </tr> <tr> <td>イメージ同定</td> <td>・文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する力</td> </tr> <tr> <td>具体例同定</td> <td>・言葉の定義を読んで、それと合致する具体例を認識する力</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) モデル地区及び研究協力校 ○佐世保市 ・佐世保市立大野小学校 ・佐世保市立大野中学校 ○時津町 ・時津町立時津小学校 ・時津町立時津北小学校 ・時津町立時津東小学校 ・時津町立鳴鼓小学校 ・時津町立時津中学校 ・時津町立鳴北中学校</p> <p>(4) 読解力育成プラン(案) 別紙参照</p> <p>(5) 今後の取組 ① 作成した「読解力育成プラン」を県内に発信し、読解力育成を視点とした授業改善を進める。 ② 読解力育成プランとこれまでの学力向上の取組(三つの提案等)を統合し、本県独自の21世紀型学力向上の指針「長崎県授業改善メソッド」を作成する。</p>	能力値	内 容	係り受け解析	・文の基本構造(主語・述語・目的語など)を把握する力	照応解決	・指示代名詞が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力	同義文判定	・2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力	推論	・既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力	イメージ同定	・文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する力	具体例同定	・言葉の定義を読んで、それと合致する具体例を認識する力
能力値	内 容														
係り受け解析	・文の基本構造(主語・述語・目的語など)を把握する力														
照応解決	・指示代名詞が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力														
同義文判定	・2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力														
推論	・既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力														
イメージ同定	・文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する力														
具体例同定	・言葉の定義を読んで、それと合致する具体例を認識する力														

2. 学力向上に係る学校訪問について

(1) 訪問の目的

本課職員が、3年間で、県内すべての市町立小・中学校及び義務教育学校を訪問し、授業参観や実施校職員との協議を通して、学力向上対策の課題を共有するとともに、改善策について検討する。また、学校訪問で把握した効果的な取組等を今後の県の教育施策に生かす。

(2) 令和元年度実績について

①訪問校…県内小・中学校及び義務教育学校168校(34%)

(学力向上に係る訪問校142校、県研究指定及び要請訪問校26校)

※令和2年2月までに訪問予定の未実施校1校を含む

②訪問学校種内訳(学力向上に係る訪問校142校)

小学校	中学校	小中学校	計
94	44	4	142

※令和2年2月までに訪問予定の未実施校1校を含む

③市町別内訳(学力向上に係る訪問校142校)

長崎	佐世保	島原	諫早	大村	平戸	松浦	対馬	壱岐	五島	西海
30	15	2	14	7	6	9	10	6	7	6
雲仙	南島原	長与	時津	東彼杵	川棚	波佐見	小値賀	佐々	新上五島	計
5	8	3	1	1	2	0	1	3	6	142

※令和2年2月までに訪問予定の未実施校1校を含む

④訪問者による評価内訳(評価対象：学力向上に係る訪問校141校)

4(十分満足できる)	3(ほぼ満足できる)	2(若干の改善が必要)	1(大幅に改善が必要)
17校	59校	62校	3校
12.1%	41.8%	44.0%	2.1%

※令和2年2月までに訪問予定の未実施校1校を除く

(3) 被評価校の状況(訪問者記録から特徴的なものを一部抜粋)

4	<p>○校長の明確な学校運営方針のもと、教職員自らボトムアップの形で教育活動の充実改善を図っている。</p> <p>○学習規律や板書、ノートのとおり方など、授業については「全校でそろえること」が意識されており、どの学年・学級においても一定以上の授業ができる仕組みがつけられている。</p>
3	<p>○全国学力・学習状況調査、県学力調査、市町学力調査など様々な調査結果の分析をもとに、児童生徒の実態に合わせた授業改善策が計画・実践されている。</p> <p>○「学力向上」が学校経営方針の中核に位置付けられており、校長のリーダーシップのもと、PDCA サイクルに基づいた授業改善に、全職員が一丸となって取り組んでいる。</p> <p>△個々の授業においては、細部で共通理解が図られていない状況が散見される。</p>
2	<p>○各種学力調査については、全職員で問題を解き、分析・考察のもと、「めあて」と「まとめ」を板書で児童生徒に伝えること、書く活動を重視した授業展開を行うこと、授業の中で学習規律を徹底することなど学習環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>△学力調査の分析や課題克服のための手立てが資料として作成されているが、校内研修等での十分な共通理解、共通実践には至っていない。</p> <p>△校内研究や学力向上の取組が、生徒の実態や課題を踏まえたものまでには至っていない。</p>
1	<p>△各種学力調査の結果は分析しているものの、課題解決のための具体策がないなど、管理職をはじめとする職員の危機感、学力向上にかける本気度が足りない。</p> <p>△重点努力目標達成のための方策の1つ目に学力向上を掲げているが、具体的な共通実践までには至っていない。</p> <p>△県及び全国学力調査の結果分析と改善策について検討しているものの、各教員任せで職員全体が組織として取り組む雰囲気がない。</p>

(4) 今後の取組

- ① 令和3年度までに県内すべての公立小・中学校及び義務教育学校を訪問するために、令和2年度も計画的に学校訪問を実施する。
- ② 成果につながっている各学校の取組や状況等、令和元年度の訪問で把握した情報を各種研修会における指導に役立てる。

令和2年1月31日(案)

21世紀型学力向上推進緊急プロジェクト

長崎県読解力育成プラン

『本県の学力向上の取組は他都道府県と比べて遜色がない』、また、『子どもたちも劣っているとは考えられない』にも関わらず、結果が伴わないのはなぜなのか。

その理由の一つとして、成績が伸び悩む児童生徒は、そもそも問題文が正しく読解できていないのではないか、また、教師の話が理解できていないのではないか」という、「読解力」に関する仮説が浮かび上がりました。

この仮説への対応策として、県教育委員会では、令和元年度からの3カ年計画で「21世紀型学力向上推進緊急プロジェクト事業」に取り組んでいます。

その目的は、「各教科等の学力」や「学ぶ意欲」の土台となる「読解力」を育成するための学習指導の在り方を明らかにし、その成果を公表するとともに、県内で広く活用していただくことによって、本県児童生徒の学力向上の基盤をつくろうとするものです。

今回は、モデル地区での実践の成果を生かし、読解力育成のポイントを示した「長崎県読解力育成プラン」をお届けします。このプランを契機として、読解力を向上させることの重要性を教職員全員が共通理解し、まずは、これまでの授業や教育活動に、「読解力の育成」を意識した改善を加えていきたいと考えます。

令和2年3月

長崎県教育委員会

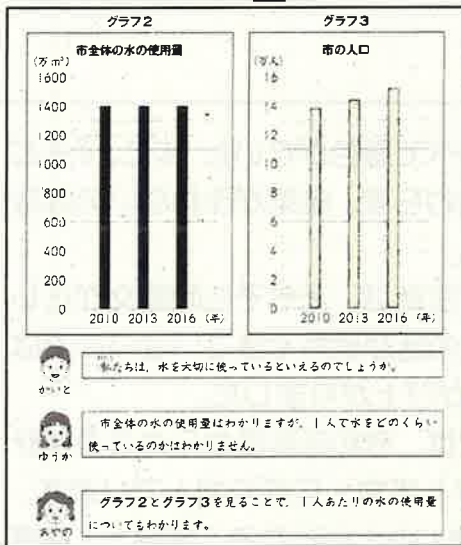
今、求められる「読解力の育成」

- なぜ、今「読解力の育成」なのか、本県の全国学力・学習状況調査における現状やこれからの時代を創る児童生徒に求められている能力をもとに確認します。

☆本県の全国学力・学習状況調査における現状

- ◆ 平均正答率の過去5年間の平均は、小学校は0.6~1.5ポイント、中学校は0.4~1.0ポイント全国を下回った。
- ◆ 特に、小学校では、基礎的な知識・技能の定着について、低学年段階からの学習の積み上げに課題が見られた。
- ◆ 小中学校を総じて、複数の情報を読み解き、必要な情報を取り出したり整理したりすること、また、それらをもとに自分の考えをまとめることに継続的な課題が見られた。

【例】小学校算数② (3)



あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだだけを、グラフ2とグラフ3からわかることのもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

県の正答率 48.8%
全国との差 -3

<仮説>

※成績が伸び悩む児童生徒は、教師の話が理解できない、問題が正しく読めないなど、読解力に課題を抱えているのではないか。

☆これからの時代に児童生徒に求められている能力

(予測困難な時代をたくましく生き抜く素地)

- ① 汎用的スキル (各教科等での学びを実生活に活用できる力)
- ② 非認知スキル (学ぶ意欲や人間性等)
- ③ 21世紀型スキル (正しい読解に支えられた問題解決力、企画力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力等)

これらのことから、本県児童生徒の学力や21世紀型スキルの向上を図るためには、各教科の重点課題の克服とともに、教科等の枠を越えて「読解力」を育成する授業への転換を図ること、また、そのための学習指導の在り方を明らかにすることが必要であると考えました。

- まず始めたことは、ここで言う「読解力」とはどのような力かを明らかにすることでした。先生方も、次のような疑問を感じたことがないでしょうか。



- ・「読解力」ってよく使う言葉だけど、どんな力のこと?
- ・「読解力」がある子どもってどんな子ども? 国語科の学力が高い子ども? 算数・数学の文章題が解ける子ども?
- ・「読解力」ってどうやって測るの?
- ・「読解力」はどうやったら伸びるの?

あいまい…

リーディングスキルテスト（RST）の活用

- そこで、「読解力」を測り数値化することで、目に見えるものにするために、また、これまであいまいだった読解の要素を明らかにし、指導の具体化を図るために、リーディングスキルテスト（RST）と能力値6分類を活用することにしました。

※リーディングスキルテスト（RST）とは

- 国立情報学研究所を中心とした研究チームが開発した「基本的な読む力（読解力）」を測るテスト。
- 教科書などの基本的な文章や図表、グラフからの情報などを読み取ることができるかを、能力値6分類で評価。

※能力値6分類とは

① 係り受け解析…文の基本構造（主語・述語・目的語など）を把握する力

問題例：色々において引き付けられた動物は、おしべの花粉を体につけ、別の花のめしべへと運び、植物の受粉を助ける。

植物の受粉を助けるのは（ ）である。 ⇒動物

② 照応解決…指示代名詞が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力

問題例：火星には、生命が存在する可能性がある。かつて大量の水があった証拠が見つかっており、現在も地下には水がある可能性がある。

かつて大量の水があった証拠が見つかっているのは（ ）である。 ⇒火星

③ 同義文判定…2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力

問題例：義経は平氏を追いつめ、ついに壇ノ浦でほろぼした。

平氏は義経に追いつめられ、ついに壇ノ浦でほろぼされた。 ⇒同じである

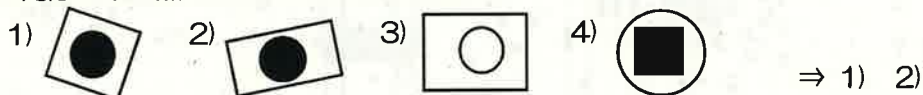
④ 推論…既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力

問題例：エベレストは世界で最も高い山である。

エルブルス山の高さはエベレスト以下である。 ⇒正しい

⑤ イメージ同定…文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する力

問題例：四角形の中に黒でぬりつぶされた円がある。



⑥ 具体例同定…言葉の定義を読んで、それと合致する具体例を認識する力

問題例：1とその数以外の約数を持つ整数を合成数という。合成数の例として正しいものを選択肢からすべて選びなさい。

1) 1 2) 2.2 3) 0.6 4) 9 ⇒ 4)

- 本県の現状とこれら6つの能力値の考え方から、「読解力育成プラン」の作成にあたり、県教育委員会では、「読解力」を、

• 教科等の枠を超えて、各教科等の土台となる能力

→文章を正しく、速く理解できる。

→文章と図、表、グラフ等の関係を捉えたり、知識をもとに推論したりことができる。

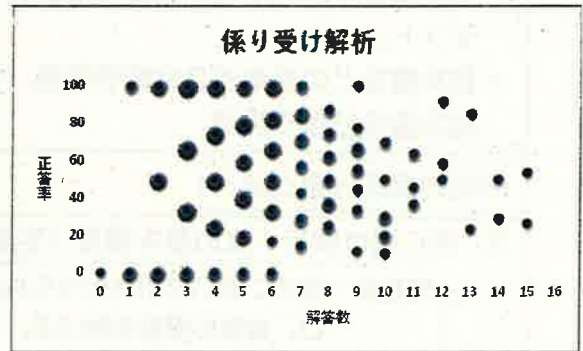
と定義しました。

本県の子供たちの読解の傾向

■ モデル地区の小学校第6学年441名と中学校第1学年444名、第2学年440名、第3学年451名、加えて県立中学校の第1学年353名、第2学年344名、第3学年337名がRSTを受検し、その結果を基に、本県の子供たちの読解の傾向を分析しました。

右の<例>は、小学校第6学年の係り受け解析に関する、正答率と解答数の分布図です。縦軸が正答率、横軸が解答数で、右上に行くほど、正答率が高く解答数も多い（正確で速い）ことを示します。ドットの大きさは人数の重なりを表しており、ドットが大きいほど人数が多いことを示します。この分布図から分かることは、同一教室内で指導している子供たちには、読解力（正確さと速さ）に大きな差がある、ということです。

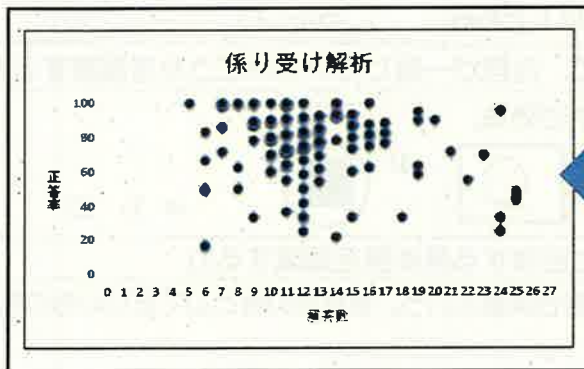
<例>小学校第6学年 係り受け解析



次に、全国学力学習状況調査において3教科の平均正答率に16P~21P差がある【一般公立A中学校第3学年】と【県立B中学校第3学年】の結果を比較すると、特に、係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」において差が大きいということが分かりました（<例>グラフ1、2参照）。逆に、「同義文判定」「推論」「具体例同定」については、他の3能力値に比べれば大きな差は見られませんでした（<例>グラフ3、4参照）。つまり、まずは前者の3点の育成に着目することが重要であるということが分かりました。

<例>

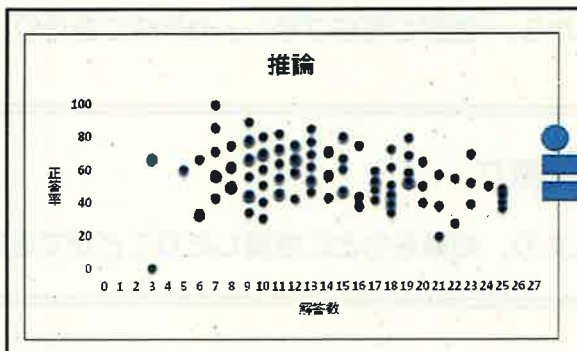
グラフ1【公立A中学校第3学年】



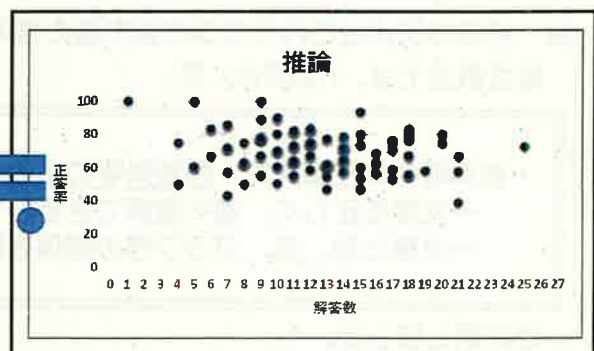
グラフ2【県立B中学校3学年】



グラフ3【公立A中学校第3学年】



グラフ4【県立B中学校3学年】

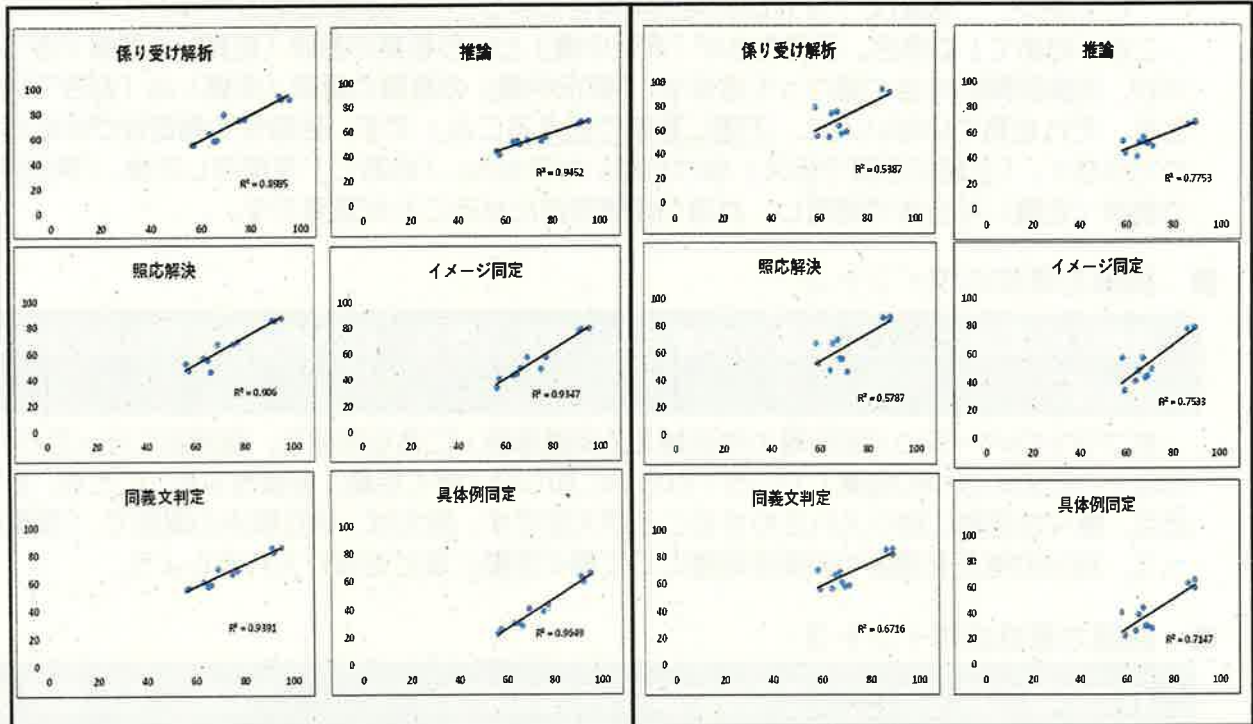


さらに、6つの各能力値の正答率と全国学力・学習状況調査の平均正答率の相関関係についてグラフを作成・分析したところ、各能力値の正答率が高いほど、全国学力・学習状況調査の平均正答率が高いということが、明らかになりました（〈例〉グラフ【各能力値の正答率と全国学力・学習状況調査の平均正答率の相関関係】参照）。

〈例〉グラフ【各能力値の正答率と全国学力・学習状況調査の平均正答率の相関関係】

〈国語〉

〈算数・数学〉



※縦軸：各能力値の平均正答率（％） 横軸：全国学力・学習状況調査の平均正答率（％）

■ このような結果及び考察から、以下のような分析結果と読解力育成のポイントが浮かび上がりました。

結果分析

- ・同一教室内で指導している子供たちには、読解力（正確さと速さ）に大きな差がある。
- ・「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」の能力の育成が重要。
- ・読解力と全国学力学習状況調査は、相関がある。



読解力育成のポイント

- 1 授業では、教師の発する言葉や提示した文章が、教師の意図どおり、子供たちに伝わるように工夫する。
- 2 読解力の基礎として、語彙力や漢字力、構文力等を、小学校低学年から身に付けさせる。
- 3 6つの能力値（特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」）を日頃の授業づくりの視点に加える。

読解力育成のポイント

■ 読解力育成のポイント1

授業では、教師の発する言葉や提示した文章が、教師の意図どおり、子供たちに伝わるように工夫する。

例えば、「教科書に書いてあるでしょう。しっかり読みなさい！」で終わっては危険だということです。子どもたちがどう読み取ったかを確認することが大切です。「学力向上のための3つの提案」の『めあてとまとめが子どもに届く』の「めあて」で考えてみましょう。

〈例〉 めあて「オセロの実況中継をしよう」 (小学校第5学年)

この「めあて」の場合、子供たちが「実況中継」という言葉の意味(定義)を理解できているかが、授業展開に大きく関わってきます。「実況中継」の言葉の意味(定義)は「起きていることを、それを見ていない人に、正確に言葉で伝えること」です。独自性や創造性が求められるのではなく、「正確に言葉で伝え」なければいけません。「めあて」を提示した後、「実況中継」の意味(定義)を全体で確認し、共通の認識を持たせることが重要です。

■ 読解力育成のポイント2

読解力の基礎として、語彙力や漢字力、構文力等を、小学校低学年から身に付けさせる。

本プラン〇ページの「教科等の枠を越えた実践事例」にある取組を、継続的に行ったり、「学力向上のための3つの提案」でいう「ねらいに即した『書く活動』を重視する」ことを、教科を超え、様々な活動に取り入れたりすることが大切です。例えば、自立解決の場面で、「題意に沿って、自分の考えを理由や根拠を明確にして書く活動」などを取り入れましょう。

■ 読解力育成のポイント3

6つの能力値(特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」)を日頃の授業づくりの視点に加える。

これまであいまいだった「読解力」について、6つの能力値を日頃の授業づくりの視点に加えて、具体化を図っていくことが大切です。例えば、

- ・係り受け解析……主語が書かれていない文章(書かれている文章についても)は、教師が意図的に主語を問うたり、補うように指示したりする。 →PO
- ・照応解決……「それ」「これ」等、指示代名詞が示す言葉について、下線を引きながら読み取るなどして確認する。 →PO
- ・同義文判定……意見や答えが正しい(同じ)か、答え合わせの仕方を指導したり、グループ学習に取り入れたりする。 →PO
- ・推論……「～だから…です」など、既習事項等を根拠として新しい知識を獲得していく場面をつくる。 →PO
- ・イメージ同定……文章を読み取る過程では、読み取ったことを整理したり考えを深めたりするために、図的表現(簡単な絵なども含む)を用いて考えを進めるようにする。 →PO
- ・具体例同定……言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、文章を読み取り考えたり話し合ったりする活動に取り組むようにする。 →PO

といったことが考えられます。次ページから、モデル地区の小学校・中学校における、6つの能力値を視点に加えて読解力の育成を図った授業実践例を紹介します。

授業実践事例

■ ここからは、モデル地区の小・中学校における授業実践事例を紹介します。

〇〇小学校 第〇学年 〇〇科

単元名：

本時の目標：

取り入れた場面	指導上の工夫	能力値
※実践事例		

☆実践のポイント

小学校2

※実践事例

報 告 事 項 (4)

高 校 教 育 課

件 名	令和2年度長崎県立中学校入学者選抜の実施状況等について																																				
概 要	<p>1 検査の期日及び方法 令和2年1月12日(日) 適性検査、作文及び面接</p> <p>2 各県立中学校入学者選抜検査の実施状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">中学校 区分</th> <th style="text-align: center;">長崎東中学校</th> <th style="text-align: center;">佐世保北中学校</th> <th style="text-align: center;">諫早高等学校附属中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">定 員</td> <td style="text-align: center;">120名</td> <td style="text-align: center;">120名</td> <td style="text-align: center;">120名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">志願者数</td> <td style="text-align: center;">364名</td> <td style="text-align: center;">297名</td> <td style="text-align: center;">325名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">志願倍率</td> <td style="text-align: center;">3.0倍</td> <td style="text-align: center;">2.5倍</td> <td style="text-align: center;">2.7倍</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">欠席者数</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">受検者数</td> <td style="text-align: center;">363名</td> <td style="text-align: center;">295名</td> <td style="text-align: center;">324名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">受検倍率</td> <td style="text-align: center;">3.0倍</td> <td style="text-align: center;">2.5倍</td> <td style="text-align: center;">2.7倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 検査後の日程</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">期 日・期 間</th> <th style="text-align: center;">事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1月20日(月)まで</td> <td>入学予定者の発表 (入学予定者通知文・選抜結果通知書の発送による)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1月20日(月)～ 1月24日(金)正午</td> <td>入学意思確認書の受付</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1月24日(金)15時～ 3月31日(火)</td> <td>欠員補充による入学予定者の意思確認</td> </tr> </tbody> </table>	中学校 区分	長崎東中学校	佐世保北中学校	諫早高等学校附属中学校	定 員	120名	120名	120名	志願者数	364名	297名	325名	志願倍率	3.0倍	2.5倍	2.7倍	欠席者数	1名	2名	1名	受検者数	363名	295名	324名	受検倍率	3.0倍	2.5倍	2.7倍	期 日・期 間	事 項	1月20日(月)まで	入学予定者の発表 (入学予定者通知文・選抜結果通知書の発送による)	1月20日(月)～ 1月24日(金)正午	入学意思確認書の受付	1月24日(金)15時～ 3月31日(火)	欠員補充による入学予定者の意思確認
中学校 区分	長崎東中学校	佐世保北中学校	諫早高等学校附属中学校																																		
定 員	120名	120名	120名																																		
志願者数	364名	297名	325名																																		
志願倍率	3.0倍	2.5倍	2.7倍																																		
欠席者数	1名	2名	1名																																		
受検者数	363名	295名	324名																																		
受検倍率	3.0倍	2.5倍	2.7倍																																		
期 日・期 間	事 項																																				
1月20日(月)まで	入学予定者の発表 (入学予定者通知文・選抜結果通知書の発送による)																																				
1月20日(月)～ 1月24日(金)正午	入学意思確認書の受付																																				
1月24日(金)15時～ 3月31日(火)	欠員補充による入学予定者の意思確認																																				

報 告 事 項 (6)

高校教育課

件名 令和2年度県立学校職員（実習助手、寄宿舍指導員）採用選考試験の結果について

概要

1 日程等

- (1) 試験日 令和2年 1月14日（火）
- (2) 試験会場 長崎県庁行政棟
- (3) 試験内容 ①小論文 ②個人面接
- (4) 合格者発表 令和2年 2月 7日（金）

2 選考結果

実習助手及び寄宿舍指導員

< A採用（障害者特別採用選考） >

志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)
実習助手（理 科）	1	1	1	1	1. 0
実習助手（農 業）	2	2	2	1	2. 0
実習助手（工業建築）	1	0	0	0	-
実習助手（特別支援）	8	8	6	1	8. 0
合 計	1 2	1 1	9	3	3. 6

※障害者特別採用選考については、志願があった校種・教科のみ掲載

< B採用 >

志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)
実習助手（理 科）	1 0	9	5	1	9. 0
実習助手（農 業）	6	6	4	1	6. 0
実習助手（工業電気）	2	2	2	2	1. 0
実習助手（工業建築）	5	5	5	1	5. 0
実習助手（商 業）	1 1	1 1	5	1	1 1. 0
実習助手（特別支援）	1 4	1 4	5	1	1 4. 0
小 計	4 8	4 7	2 6	7	6. 7
寄宿舍指導員	2 8	2 8	8	3	9. 3
合 計	7 6	7 5	3 4	1 0	7. 5

概要

(参考) 昨年度の実施状況

< A採用 (障害者特別採用選考) >

職 種	志願者数等 (A)	志願者数 (B)	受験者数 (C)	第1次試験 合格者数 (D)	第2次試験 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(D)
実習助手 (特別支援)	4	4	4	4	4	1.0
合 計	4	4	4	4	4	1.0

※障害者特別採用選考については、志願があった校種・教科のみ掲載

< B採用 >

職 種	志願者数等 (A)	志願者数 (B)	受験者数 (C)	第1次試験 合格者数 (D)	第2次試験 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(D)
実習助手 (理 科)	12	10	5	1	10.0	
実習助手 (農 業)	10	10	5	1	10.0	
実習助手 (工業電気)	4	4	4	1	4.0	
実習助手 (工業建築)	7	7	5	2	3.5	
実習助手 (特別支援)	12	12	5	1	12.0	
小 計	45	43	24	6	7.2	
寄宿舎指導員	15	15	5	1	15.0	
合 計	60	58	29	7	8.3	

3 結果の通知 令和2年 2月 7日 (金)

報 告 事 項 (7)

高校教育課

件名	令和2年度県立学校教員（理療）採用特別選考試験の結果について																																				
概要	<p>1 試 験</p> <p>(1) 試 験 日 令和元年12月10日（火）</p> <p>(2) 試験会場 長崎県庁行政棟</p> <p>(3) 試験内容 ①筆記試験 ②小論文 ③個人面接</p> <p>(4) 合格者発表 令和2年1月17日（金）</p> <p>2 受験者数及び合格者</p> <p>(1) 教員（理療）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">志願者数等</th> <th style="text-align: center;">志願者数</th> <th style="text-align: center;">受験者数</th> <th style="text-align: center;">合格者数</th> <th style="text-align: center;">採用 予定者数</th> <th style="text-align: center;">倍率</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">(A)</th> <th style="text-align: center;">(B)</th> <th style="text-align: center;">(C)</th> <th style="text-align: center;">(D)</th> <th style="text-align: center;">(B)/(D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教員（理療科）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 過去の実施状況 平成27年度採用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">志願者数等</th> <th style="text-align: center;">志願者数</th> <th style="text-align: center;">受験者数</th> <th style="text-align: center;">合格者数</th> <th style="text-align: center;">採用 予定者数</th> <th style="text-align: center;">倍率</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">(A)</th> <th style="text-align: center;">(B)</th> <th style="text-align: center;">(C)</th> <th style="text-align: center;">(D)</th> <th style="text-align: center;">(B)/(D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教員（理療科）</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> </tr> </tbody> </table>	志願者数等	志願者数	受験者数	合格者数	採用 予定者数	倍率	職種	(A)	(B)	(C)	(D)	(B)/(D)	教員（理療科）	1	1	1	1	1.0	志願者数等	志願者数	受験者数	合格者数	採用 予定者数	倍率	職 種	(A)	(B)	(C)	(D)	(B)/(D)	教員（理療科）	5	5	1	1	5.0
志願者数等	志願者数	受験者数	合格者数	採用 予定者数	倍率																																
職種	(A)	(B)	(C)	(D)	(B)/(D)																																
教員（理療科）	1	1	1	1	1.0																																
志願者数等	志願者数	受験者数	合格者数	採用 予定者数	倍率																																
職 種	(A)	(B)	(C)	(D)	(B)/(D)																																
教員（理療科）	5	5	1	1	5.0																																

報 告 事 項 (8)

特別支援教育課

件 名	障害のある子どもの教育の在り方に関する検討委員会第2回会議について
概 要	<p>1 開催日 令和2年1月22日(水)</p> <p>2 会議内容 協議「特別支援学校の環境整備と教育の充実について」</p> <p>○特別支援学校の現状と課題、その方向性について(池田委員情報提供)</p> <p>①特別支援学校における個に応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の状態や特性等に応じたICT機器の活用は、各教科等の指導効果を高め、有効であることから、一層の活用を推進する必要がある。 <p>②卒業後の自立と社会参加に向けた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業や労働関係機関との連携を強化し、生徒の適性等に応じた就業体験活動の充実を図り、職域の拡大につなげる必要がある。 ・個別の教育支援計画を活用し、就労先への移行支援や定着支援の充実を図る必要がある。 <p>③特別支援学校の整備と機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模化し、教室不足等が生じている学校については、教室不足の解消など計画的に整備を図る必要がある。 <p>○委員からの主な意見等</p> <p>①これからの時代を生きる子どもたちに身に付けてほしい力(何ができるようになるか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代はICTを十分に使いこなせる力を育ててほしい。目的を実現するための手段としてICT活用能力を身に付けることが重要である。そのため、子どもたちに対し、外に向かい興味をもってかかわる力、自分がしたいことを実現するために考える力を育ててほしい。 ・これからの時代を生きる子どもたちには、一人一人に応じて自立に向けた意欲と行動力を高めてほしい。 ・子どもたち一人一人が持っている豊かな感性を社会に対して発信していくため、コミュニケーション力が必要である。その上で、自己肯定感も育ててほしい。

概 要

②身に付けてほしい力を確実に育成するための創意工夫にあふれた豊かな学びの実現(何を学ぶか・どのように学ぶか)

- ・障害により言葉や身体を使って表現できない子どもが分身ロボットを活用している例がある。幼児期から機器を使いこなせれば自分を表現できる可能性や、才能を発揮できる可能性も広がると思われる。
- ・知的障害のある生徒の就職先として、以前は製造業が多かったが、最近では事務系の分野にも就労している。生徒一人一人が多様な職への意識を高めながら学ぶことが大切である。
- ・医療的ケア児が高等部を卒業し、福祉サービスを利用した進路先で、一人で過ごす時間が増えるという現実もある。在学中の学びを、卒業後の豊かな暮らしにどのようにつなげていくかについて考えていくことが重要である。

③特別支援学校に期待する機能（地域とともにある特別支援学校とは）

- ・特別支援学校は、地域の小学校等に通っている子どもたちにも開かれたところであってほしい。例えば、地域の小学校等に通っている障害のある子どもが、特別支援学校で体育の授業を受けるような仕組みがあっても良い。
- ・特別支援学校の図書室においても、読書困難者に対する支援ネットワークの構築に向けて可能性を含め検討してほしい。
- ・特別支援学校と特別支援学級や通級指導教室とが連携し、地域での相談・支援体制が構築されている。今後、通常の学級の担任に対する体制が充実することを期待する。

④特別支援学校の整備

- ・学校によっては、特別支援学校の児童生徒数が年々増加し、大規模化し、教室不足等が生じている学校があるため、計画的に整備を図る必要がある。
- ・特別支援学校が避難所になるのは合理的である。地域の関係機関や社会福祉法人と連携して、避難所としての整備が考えられるのではないか。
- ・視覚障害者等がやりたいスポーツを主体的に選ぶことができるよう、スポーツ環境の整備が進めばありがたい。

報 告 事 項 (9)

学芸文化課

件 名	学芸員採用選考試験の結果について														
概 要	<p>1 第1次試験 (1) 試験日時 令和元年11月17日(日) 10時～12時 (2) 試験会場 県庁行政棟7階教育委員会室 (3) 試験内容 専門試験(職務の遂行に必要な専門的な知識についての記述式による筆記試験)</p> <p>2 第2次試験 (1) 試験日時 令和2年1月12日(日) 10時～12時 (2) 試験会場 県庁行政棟3階会議室 (3) 試験内容 個人面接</p> <p>3 最終合格者 <u>1名</u></p> <p>【選考経過】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">志願者数等 職 種</th> <th>志願者数 (A)</th> <th>第1次試験 受験者数 (B)</th> <th>第1次試験 合格者数 (C)</th> <th>第2次試験 受験者数 (D)</th> <th>最 終 合格者数 (E)</th> <th>倍 率 (B)/(E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学芸員</td> <td>20 (6)</td> <td>19 (6)</td> <td>4 (1)</td> <td>4 (1)</td> <td>1 (0)</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数字は女性の受験者数(内数)</p> <p>4 結果の通知 ・ 令和2年1月31日(金) ・ 本課ホームページ掲載と併せて第2次試験受験者全員へ文書にて通知</p> <p>5 今後のスケジュール ・ 県人事委員会に対し採用選考申請を行う。 ・ 令和2年3月開催の人事委員会において正式決定の後、令和2年4月1日付け採用予定。</p>	志願者数等 職 種	志願者数 (A)	第1次試験 受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 受験者数 (D)	最 終 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(E)	学芸員	20 (6)	19 (6)	4 (1)	4 (1)	1 (0)	19.0
志願者数等 職 種	志願者数 (A)	第1次試験 受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 受験者数 (D)	最 終 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(E)									
学芸員	20 (6)	19 (6)	4 (1)	4 (1)	1 (0)	19.0									

報 告 事 項 (1 0)

学芸文化課

件 名	<p>県庁舎跡地範囲確認調査の結果について</p>
概 要	<p>1 遺 跡 名 長崎西役所跡</p> <p>2 所 在 地 長崎県長崎市江戸町2番13号</p> <p>3 調 査 主 体 長崎県教育委員会</p> <p>4 調 査 期 間 令和元年10月16日（水）～令和2年1月15日（水）</p> <p>5 調 査 面 積 1,016㎡</p> <p>6 調 査 区 試掘坑（TP）18箇所（調査区配置図のとおり）</p> <p>7 調 査 結 果（調査結果の詳細及び概要については、「別冊資料」参照）</p> <p>（1）遺構について</p> <p>○旧県庁本館下の大部分について、井戸遺構を除いて江戸期以前の遺構等を含まない地山であることを確認した。</p> <p>○県庁舎跡地南側の旧立体駐車場付近では、江戸期前半の石垣や町屋の遺構を確認した。</p> <p>○県庁舎跡地西側付近においては、江戸期前半の瓦、陶磁器片などが混入した複数の土層を確認した。</p> <p>（2）遺物について</p> <p>遺物は、陶磁器、瓦片、金属製品、ガラス製品、貝類、獣骨などが出土している。陶磁器については、16世紀から17世紀前半期の景德鎮<small>けいとくちん</small>窯製磁器、漳州<small>しょうしゅう</small>窯製磁器、東南アジア産陶器類や同時期の肥前産陶磁器などが出土している。</p> <p><参考：県庁舎跡地の主な変遷></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1571年（元龜2） 岬の突端の高台に小さな教会（サン・パウロ教会堂）が建てられる。 ・1601年（慶長6） 被昇天のサンタ・マリア教会が建てられる。 ・1614年（慶長19） 被昇天のサンタ・マリア教会が破却される。 ・1614年以降 教会跡地に糸割符宿老会所が設置される ・1633年（寛永10） 長崎奉行所（東屋敷、西屋敷）建設 ・1673年（延宝元） 長崎西役所（立山に東役所が移される。） ・1874年（明治7） 初代長崎県庁が完成（木造2階建） ・1876年（明治9） 2代目の県庁舎が完成 ・1911年（明治44） 3代目の県庁舎（レンガ造）、県会議事院が完成 ・1945年（昭和20） 原爆後の火災で第3代目の県庁舎、焼失 ・1953年（昭和28） 4代目の県庁舎完成



調査区配置図

報 告 事 項 (1 1)

体育保健課

件 名	第 7 5 回国民体育大会冬季大会について
概 要	<p>○ スキー競技会</p> <p>1 期 日</p> <ul style="list-style-type: none">・ ジャイアントスラローム 令和 2 年 2 月 1 6 日 (日) ~ 1 9 日 (水) 於 : たいらスキー場 (富山県南砺市) <p>2 県選手団</p> <ul style="list-style-type: none">・ ジャイアントスラローム 監督 1 名 選手 5 名 成年男子 C : 山口秀行、有井丈朗、西拓郎 成年女子 A : 田中綾愛 成年女子 B : 弟子丸千春

